

平成23年度事業実施報告書



唐松会 会団長
田中 俊章

昨年に引き続き、本年度も唐松会の会団長として一年間務めさせて頂きました。

本年度は昨年の3月11日に起きた東日本大震災や翌12日の栄村を震源とする県北部地震が業界にどのような影響を与えるか不安な中のスタートを切りました。一年が経ち、振り返ってみると、いろいろな課題が出てきたと思います。

業界においては、震災直後の建材不足に始まり、仮設住宅の建設について、夏の電力不足、木材の放射能汚染などが課題としてあると思います。最近では関東や東南海での地震予想規模が大きく修正され、木造住宅の耐震化も話題となっております。

木材業界の担う役割は大きいと思います。その中で木青連を通じた横のつながりや情報収集を心がけていくことが必要だと思っております。

木工工作コンクールでは、本年度は担当地区から16校の参加があり、750点程の作品の出品がありました。ここ何年は佐久地域は県下でも作品数が多く力作揃いでしたが、賞を受賞する作品がなく審査会に出品した作品をそのまま持ち帰る事が続いていました。しかし、本年は佐久地域から何点か受賞する作品があり、その内の1作品は県知事賞を受賞しました。この作品は、全国の審査会においても入選したと聞いております。

親子木工教室を毎年の年間行事として取り入れてくださっている保育園があります。ここ何年かは「木の小椅子」を作ってきましたが、今年は小椅子に合う机を作りたいとの要望に答えて木の机を作りました。これがとても好評で、既に保育園にあるパイプの机セットより良いとの評価でした。お父さんやお母さんと一緒に作った椅子と机で何年か過ごすのも悪くないと思いました。余談ですが、今年小学校新1年生になるウチの娘も最近学習机(これも私が作ったものですが)になるまで使っていました。

木工工作コンクールや木工教室などを通して、木に触れてもらい身近なものとして育てていってほしい。このような木育活動を行っていくのが木青連の使命だと思っております。

最後に、来年度より東信ブロック2会団の上小木青連と唐松会を統合し、「東信木青連」として県の活動を行っていく事になりました。

県の活動では唐松会として最後の年度となってしまいましたが、地域の活動は引き続きそれぞれが地区担当として行っていきます。

今後も、木育の推進と会員の拡大を行い、またいつか唐松会として県の活動が出来るように頑張っていきたいと思っております。

1年間ありがとうございました。

唐松会 PR事業 事業報告

事業名 親子木工教室

日時 平成23年7月9日(土)

場所 佐久市岸野保育園

参加人数 30名

内容 木の机作り体験

